



大分市立
鴛野小学校
学校だより

鴛野小通信

令和2年
10月30日(金)
NO. 25
発行者: 板井勝博



ご参加・ご協力ありがとうございました

ふれあい遊び広場…板井の視点で

ふれあい遊び広場が開かれた24日は本当に良い天気でした。一通り校舎内を見てまわった私は、運動場に出してみました。

まずは、6年生の子どもたちが楽しそうに羽根つきをしている姿が目に入りました。羽子板に羽根が当たる心地よい音と子どもたちの歓声があちらこちらから聞こえてきます。羽根つきの様子を見てみると、羽根つきの羽根には (ムクロジの実) ムクロジという木の実が使われているのだということを6年生が教えてくれました。



6年生の羽根つきの向こう側では4年生が自分で折った紙飛行機を飛ばしていました。紙飛行機は折からの微風に吹かれ、回転して地面すれすれに飛んだかと思うと、次は急に高く舞い上がったりと見ていて飽きません。紙飛行機の予測不能な飛び方を子どもたちは興味深そうに眼で追いかけていました。

鉄棒の前では3年生が竹ぼっくりと格闘中。孟宗竹の節の部分に15センチほどの長さに切り、1mほどの紐をつけています。そもそも、ぼっくりとは伝統的な日本の女性の履物です。竹で作った竹ぼっくりで地面のでこぼこの上を歩くのはスリルがあるようで、おっかなびっくり歩く様子が印象的でした。



職員室前の運動場では3年生が竹鉄砲で的あてをしていました。竹の前後に濡らした新聞紙を固くつぶして詰め、空気の圧縮によって飛ばすのです。私も的あてに挑戦しましたが、スコツ…、情けない音をたてて新聞紙は地面に落ちてしまいました。難しいものです。

さて、普段なら遊具やボールで遊んでいる子どもたちが保護者の皆さんや講師の方々と昔ながらの遊びで遊んでいる風景は小春日和を思わせる天候も相まって、まるで昭和の時代のお正月風景のようでした。

室内で行われた1年生の昔遊び、2年生の絵手紙どんぐりごま、やじろべえ、5年生のポケットティッシュケース作り、お手玉作り、6年生のリース作りも見せていただきましたが子どもも講師の

先生方も本当に楽しそうに取り組んでいたのが印象的でした。初めてのふれあい遊び広場体験でしたが、本当に意義のある会だと思いました。

講師の先生方はかなり前から材料集め、準備、打ち合わせなど大変なことだったと思います。本当にありがとうございました。来年も再来年もふれあい遊び広場が末永く続くことを願っております。



そろそろ長袖バージョンを作らなければいけません。

おしの小 ハローワーク

ふれあい遊び広場に続いて行われたのが「おしの小ハローワーク」です。講師の先生方がご自分の職業について語り、実技を含めた授業をしていただく時間です。

「キャリア教育」という言葉があります。中学校3年生や高校生は実際にどのような職業に就くかというように現実的ですが、小学校段階では自分がどのような仕事をしたいかということは、まだぼんやりしたものでしょう。しかし、小学校での出会いが一生を決定づけるということもあります。また、講師の先生方の自らの職業への専門性やプロ意識に触れるのも小学生にとってはよいものです。そういった意味で子どもたちにとって非常に貴重な経験だったことと思います。講師の先生方、本当にありがとうございました。



学年	講師
1年生	加木裕幸さん 窓ガラスをきれいにしてみよう
2年生	上田史江さん Superheroになろう
3年生	麻生記良さん 住宅の設計
4年生	高崎信広さん A E D 心肺蘇生法
5年生	松下佳菜さん ヨガ
6年生	佐藤拓郎さん 刑事裁判の仕組み

我が子があんばっても、がんばっても成果が出ないときがあります。そんなとき、子どもにどのように声かけをすればよいのでしょうか。そのヒントになるのが下のグラフです。脳科学者の池谷裕二さんの著書で紹介されていたグラフです。

人は努力をしたからといって、

比例して成果が出るわけではありません。しかし、挫折することなく努力を続けると、ある時を境に一気に成果が出る場合があります。池谷先生は「爆発するかのように現れる」と表現しています。

では、どれくらい努力を続ければ成果が出るようになるのか、池谷先生は三カ月、ある有名な

先生は100日（100回）とっています。

成果が出ずに悩む子どもに三カ月（100日・100回）がんばってみよう！と見通しを立てさせることができます。大人は三カ月（100日・100回）続けられるように子どもをサポートすればよいわけです。ぜひ、このグラフ、ご活用ください。

脳力はあるときになって突然、爆発するかのように現れる

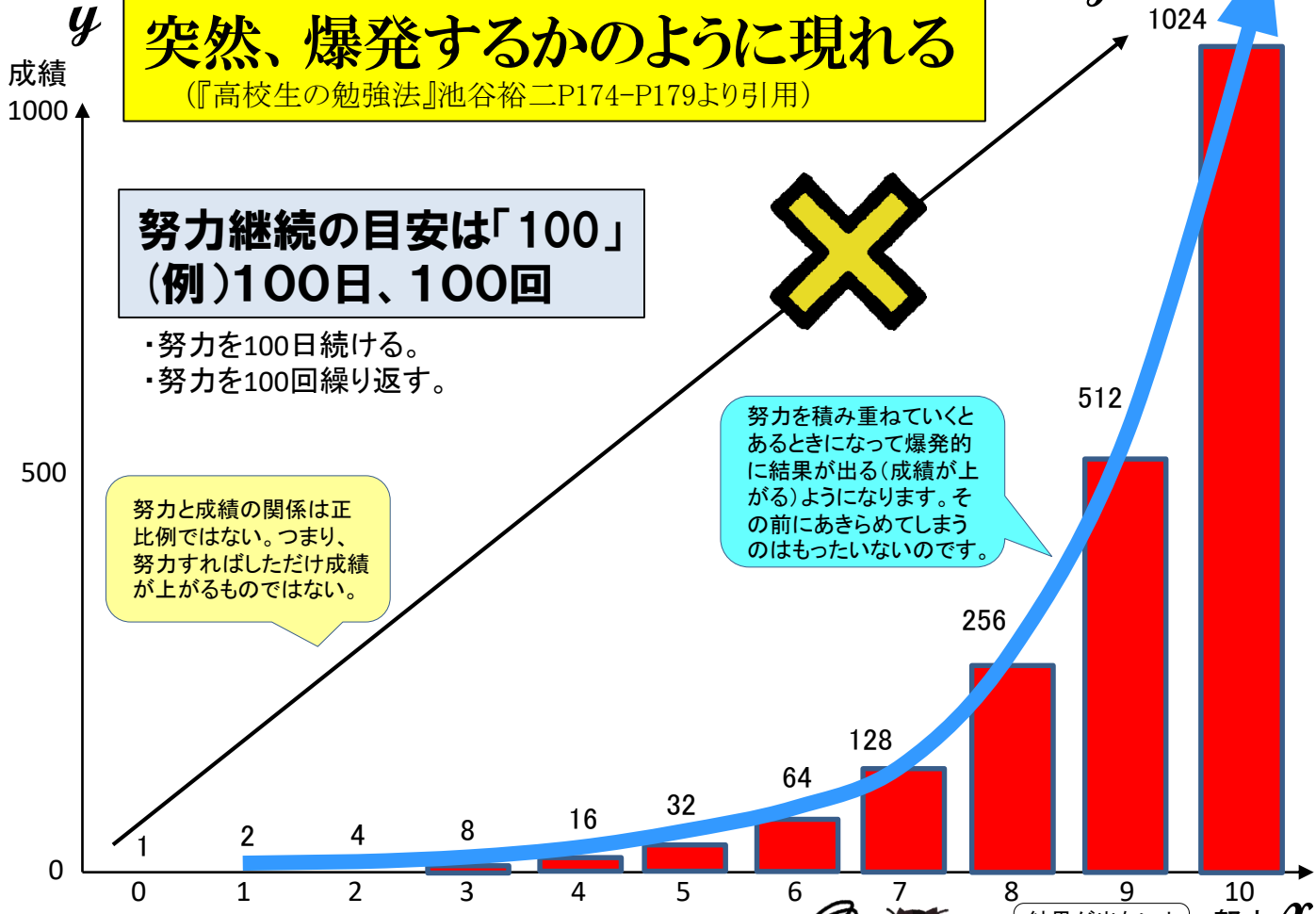
（『高校生の勉強法』池谷裕二P174-P179より引用）

努力継続の目安は「100」
（例）100日、100回

- ・努力を100日続ける。
- ・努力を100回繰り返す。

努力と成績の関係は正比例ではない。つまり、努力すればただ成績が上がるものではない。

努力を積み重ねていくとあるときになって爆発的に結果が出る（成績が上がる）ようになります。その前にあきらめてしまうのはもったいないのです。



がんばるぞ。

もう少しがんばるぞ。

もう少しだけがんばってみよう。

結果が出ないよ。もうやめよう。

もうすぐ結果が出るはず。

結果が出てきたぞ。あんなときやめなくてよかったなあ。



【1日目】

【10日目】

【一カ月目】

【二カ月目】

【三カ月目】